



現代日本のガラスアート

35人の精鋭がガラスの街・小樽に大集合

itoten

十人十色 ガラスの展覧会

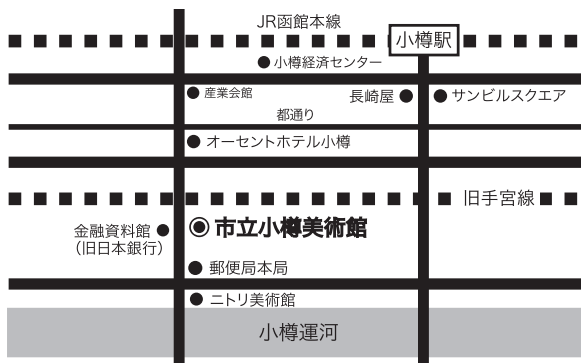
企画協力：アートグラス制作集団（イートーテン）



アートとしてのガラス制作は 1960 年代以降世界的な広がりを見せ、大胆な発想や新たな技法、地域の伝統などに立脚した多彩な作品が生み出されてきました。日本では 1970 年代以降、個人工房の増加、教育機関の充実、美術館における展覧会開催などを通じて活況を呈し、近年では日本が国際的なガラスアートの牽引役といえるほどの充実ぶりを示しています。

また小樽でも明治以来、浮玉やランプ製造などの産業があったところへ 1970 年代以降、ガラスショップやガラス工房、ガラス美術館が相次いで誕生し、「ガラスの街」として全国的にその名を知られるようになっていきます。

本展は、精力的な活動を行っている現代日本を代表する 35 人の作家の最新作を一堂に展覧することにより、ガラスアートの多彩な魅力と豊かな可能性を広く紹介するとともに、ガラスの街・小樽のさらなる活性化を図るものです。



Opening Event
出品作家によるギャラリートーク
2024年7月6日(土) 10:00 ~
2F 企画展示室内 (要観覧料)



市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内 1 丁目 9 番 5 号 (JR 小樽駅より徒歩 10 分)
Tel: 0134-34-0035 Fax: 0134-32-2388